

## 気流 U-25

読売新聞 令和2年(2020年)5月5日(火)

### 周囲気遣う行動 自覚する大切さ

大学生 中野日奈乃 20

(大阪府東大阪市)

新型コロナウイルスの感染が世界に拡大して、「自粛」という言葉が、常識となった。私は今、いわゆる田舎町にある唯一の書店でアルバイトをしている。普段も客足は少ない。外出自粛が広く受け入れられれば、店も営業を自粛しなければならなくなるだろう、そう思っていたが違った。外出自粛が言われるようになってから客は増えた。「地粛」……。地域の人

たちの中には、外出ではなく「地元から出ないこと」を自粛と考えている人もいるようだ。人との関わりを8割減らすどころか、マスクをつけていない子を連れてくる親らに関わる時間が増えたことで、初めて感染への恐ろしさを感じた。

私の両親は、私の考えや行動が間違っていれば叱ってくれる。もし、マスクをせずに買い物にでかけていれば、気づかずに他人にうつしてしまう可能性を指摘してくれるだろう。この騒

動でそのありがたさを感じることができた。そんな家族を心配させぬよう、自覚をもって行動したい。